

(参考) 2024年度の国家公務員採用試験における主な変更点について

ポイント

- ◆ 総合職試験に人文系の専攻者が自らの専門分野を選択できる区分を創設します。
- ◆ 春の大卒程度試験で基礎能力試験の出題数を削減するなど試験問題の出題を見直します。
- ◆ 春の総合職試験の日程を更に前倒して第1次試験を3月中に実施します。

1. 「政治・国際・人文区分」の創設等

- ・ 総合職試験(院卒者試験)「行政区分」の選択1「政治・国際系」と総合職試験(大卒程度試験)「政治・国際区分」を改編し、選択1「政治・国際・人文系」と「**政治・国際・人文区分**」を創設します。
- ・ **思想・哲学、歴史学、文学・芸術、人文地理学・文化人類学**といった分野が新たに出題され、人文系の専攻者が自らの専門分野を選択して受験できるようになります。

2. 試験問題の出題の見直し

- ① 春の大卒程度試験において**基礎能力試験の出題数を40題から30題に削減**します。併せて、知識分野は時事問題を中心とし、普段から社会情勢等に関心を持っていれば対応できるような内容とします。
- ② 総合職試験(院卒者試験)「行政区分」並びに総合職試験(大卒程度試験)「政治・国際・人文区分」、「法律区分」及び「経済区分」の専門試験(記述式)について、**解答題数を3題から2題に削減**し、試験準備の負担感を軽減します。
- ③ 高卒程度試験を含む全ての試験の基礎能力試験において、**情報に関する問題を出題**します。

- ※ 上記①の基礎能力試験の出題数削減は知識問題を中心に行い、上記①・②の出題数や解答題数の削減に伴って解答時間も短縮します。
 - ・ 春の大卒程度試験の基礎能力試験 …… { 現行(知能問題27問・知識問題13問):総合職3時間 一般職・専門職2時間20分
見直し後(知能問題24問・知識問題6問):総合職2時間20分 一般職・専門職1時間50分
 - ・ 総合職試験の上記②の各区分の専門試験(記述式)…… 現行:4時間 → 見直し後:3時間
⇒これに併せて上記②以外の総合職試験全区分の専門試験(記述式)の解答時間を、3時間30分から3時間に短縮します。
- ※ 上記①及び③の見直しに伴って、全ての試験において知能分野を含む基礎能力試験の出題構成を変更します。

3. 春の総合職試験日程の更なる前倒し

- ・ **2024年は更に前倒し、第1次試験を3月17日(日)に実施し、最終合格者を5月下旬に発表**します。

* これまで秋に実施していた総合職試験「法務区分」は、司法試験日程の変更に伴い2024年から春試験として実施します。